



受賞おめでとうございます 祝

令和5年11月28日に栄公会堂で行われた「第35回栄区社会福祉大会」で当ケアプラザのデイサービスで長年ボランティアをしてくださっている中村容子さんが、福祉功労者顕彰を受賞されました。

中村さんは、16年もの間ほとんどお休みする事もなく、ボランティアを続けてくださり、デイサービスに来られるご利用者さまに、いつも素敵な笑顔で元気を分けてくれています。

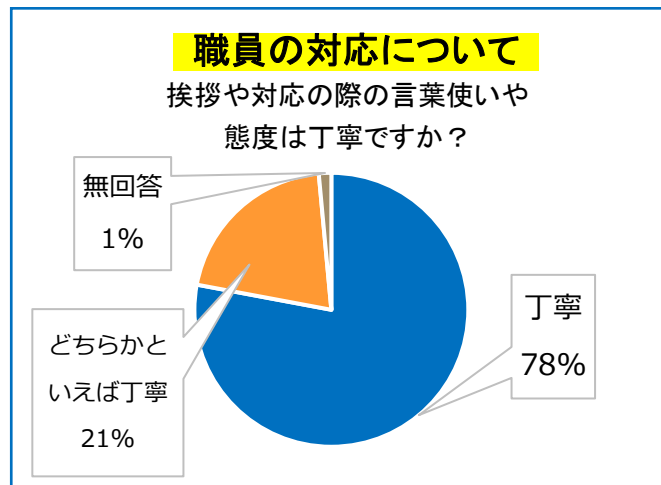
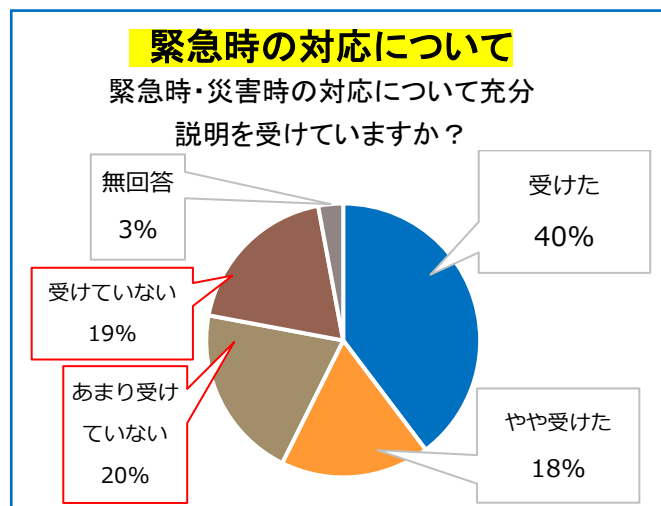
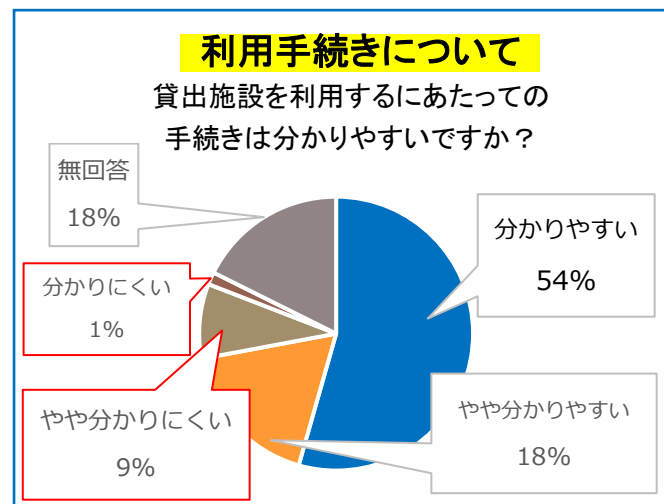
いつもありがとうございます！

そして、これからも宜しくお願いいたします！



ケアプラザでは、年に一度ご利用者にアンケート調査を行い、サービスの向上に努めています。全部門で実施している中、今回は一部抜粋した内容をご紹介します。

アンケートにご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。
【実施期間：令和5年11月～12月 対象：諸室ご利用団体】



その他のご意見ご要望

- ・室内温度が適正ではない
- ・設備の故障の修繕に時間がかかる など

【回答】施設温度に関しては、換気や節電による使用しない箇所のエアコンオフ等対応してきましたが、来館者の快適性を損なわないように十分配慮いたします。設備に関しては、開所22年が経ち、至る所に経年劣化が見られます。優先順位を考えて横浜市と協議しながら適正な施設の維持管理に努めてまいります。

～認知症に関する取り組み～



3階事務所前に認知症に関する常設コーナーを作りました。現在はこの記事でご紹介している4コマ漫画と、けあマフの情報を掲示しています。今後継続して認知症に関する情報発信をしていく予定になっておりますので、みなさんケアプラザにお立ち寄りの際はぜひご覧ください。

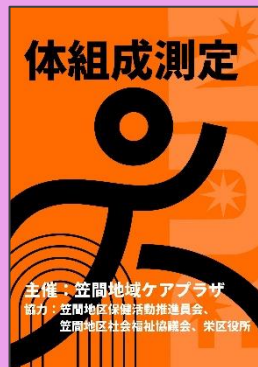


けあマフを編む会で皆様を作成して頂いたマフを、グループホーム湘南笠間様、ケアポート田谷様、福寿よこはま栄飯島様にお届けし、皆様に使っていただいています♪今後感想などお伺いし、皆様にご報告をさせていただきますと考えています。

次回けあマフを編む会
2月11日（日）13:30～
編み物初心者の方も大歓迎です。



こちらの4コマ漫画は、岐阜県郡上市にお住いの、認知症当事者の体験談を基に郡上市地域包括支援センター職員が作った物です。認知症になった状況を「頭の上に鍋がずっとかぶさっているみたい」と感じる主人公。頭が重く「何もしたくない」とふさぎこんでいます。でも友達が「また一緒にやろう」と誘い、連れ出してくれる事で、「鍋」はまぶったままですが、楽しみと安心感を取り戻している様子が描かれています。このモデルの方は、「あくまでも自分の体験だから、みんなそれぞれだと思うけど、少しでも自分の経験が他の人の役に立てるなら」と漫画作成に協力して下さったそうです。



今年度は笠間地区保健活動推進委員会、笠間地区社会福祉協議会、栄区役所のご協力をいただき、様々な場所で出張測定会を行いました。ご自身の身体の状態を知る良い機会になっていただけたら嬉しいです。令和6年度も内容を検討しながら開催する予定ですので、ご希望があればケアプラザにご相談ください。

